

表紙作品の公募について

東海国立大学機構環境報告書は、本機構の環境に関する幅広い取組を本機構の構成員はもちろん、中高生など若い世代や近隣地域にお住まいの方など多くの方に知っていただくことを目的として作成しています。表紙作品を東海国立大学機構として岐阜大学と名古屋大学の学生および教職員から公募したのは今回で3回目ですが、多数の素晴らしい作品の応募が寄せられました。この取組により多くの方々はこの表紙を見て本報告書を読んでいただくことで、東海国立大学機構の教育や研究などを通じたさまざまな環境活動に興味を持っていただく機会となれば幸いです。今回ご応募いただいた皆様と、公募の周知にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



大賞



表紙掲載

岐阜大学
応用生物科学部
連合大学院
連合農学研究科
いちほら もえ
市原 萌恵 さん

岐阜大学、名古屋大学それぞれの社会と自然界をベースに、空気の流れ、光、水辺を画面に取り入れ、移ろいと循環を続ける環境を表現しました。また、背景色をホリゾンブルーにすることで、異なる風景の中でも統一感を意識しました。本応募のお話を頂いてから、大学周辺環境に目を向け、観察する機会が確実に増えました。初夏、メタセコイアなど草木に活気が巡り、濃緑が風に揺れる様子を好ましく思います。建造物とのコントラストも美しいです。

優秀賞



裏表紙掲載

岐阜大学 医学部附属病院 総務課
わたなべ あいこ
渡邊 愛子 さん

中心の丸は一見地球かと思いきや、よく見ると大陸の形が岐阜県と愛知県になっています。東海を中心に、経済やエネルギー、人々の交流など色々なものが循環して欲しいという思いでこのような表現をしました。



名古屋大学 創薬科学研究科
いちのせ けいこ
一瀬 圭子 さん

水族館で目にするエイ類を含むサメ類などの板鰓類は、^{ばんさい}今や絶滅危惧種となっている。これら絶滅危惧種の捕獲量は非保護地域よりも部分保護区で多く零細漁業が影響を与えているとも言われている。絶滅危惧種は年々、その種が増えているが保護するうえでも、研究、調査はもとより一般の人々や漁業関係者への周知も早急に必要と思われる。

編集後記

今年度は、東海国立大学機構の災害対策を担う先生方への学生インタビュー (p. 4-7) を冒頭記事で紹介しています。東海国立大学機構の災害対策の取組のほか、日ごろから自分事としてとらえることの重要性を改めて認識させられる記事となっておりますので是非ご一読ください。

「手に取って読んでもらえる環境報告書」を目指して、高校生などの若年層にも読んでもらうことを意識して、学生に編集に参加してもらい、学生の目線で執筆してもらっています。今年度は、学生編集委員の発案により、二つの学生企画「キャンパス生態系マッププロジェクト」、「学生の環境意識に関するアンケート」をスタートすることができました。これらの企画はまだ始まったばかりですが、法学部、文学部の学生も編集に参加してくれたことなど学生同士の相互交流もより深まり、学生も年々増えているように感じています。

情報交換会を行っていただいた公立大学法人大阪の皆様、第三者評価を引き受けてくださった中部標準化懇話会の花崎様、企業見学の機会をいただいた東邦ガスの皆様など、執筆や編集を通して、学内外の多くの方々に協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。この環境報告書が今後もコミュニケーションツールとして活用されることを願っています。

(編集委員長 林 瑠美子、副編集委員長 櫻田 修)



教員編集委員

編集委員長
名古屋大学環境安全衛生管理室 准教授 林 瑠美子
副編集委員長
岐阜大学工学部 教授 櫻田 修

岐阜大学

統括環境管理責任者
応用生物科学部 教授 椎名 貴彦
副統括環境管理責任者
工学部 教授 大谷 具幸
工学部 教授 小林 智尚
応用生物科学部 教授 八代田 真人
名誉教授 長谷川 典彦

名古屋大学

環境安全衛生管理室 教授 富田 賢吾
環境安全衛生管理室 准教授 原田 敬章
施設・環境計画推進室 教授 田中 英紀
農学部・生命農学研究科 教授 山崎 真理子
農学部・生命農学研究科 准教授 岩永 青史
未来社会創造機構
マテリアルイノベーション研究所 助教 萩尾 健史

東海国立大学機構 施設統括部

次長 園田 秀久 (2024.4.1 から)
特任主幹 東 貞男
設備課 課長 鈴木 律文
設備課 課長補佐 宮崎 典 (2024.4.1 から)
設備課 課長補佐 野呂 雅幸
設備課 電気第二係長 宮野 友彰 (2024.3.31 まで)
設備課 電気第二係長 濱口 将希 (2024.4.1 から)
設備課 機械第二係長 谷口 孝之 (2024.3.31 まで)
設備課 機械第二係長 杉下 雅敏 (2024.4.1 から)
環境安全課 課長 梶浦 有一郎
環境安全課 主幹 近野 由貴 (2024.3.31 まで)
環境安全課 主幹 石原 光博
環境安全課 課長補佐 松野 晃三
環境安全課 課長補佐 水谷 聡
環境安全課 安全衛生係 主任 鈴木 昇治
環境安全課 安全衛生係 角谷 純子
環境安全課 安全衛生係 大橋 真紀子 (2024.1.31 まで)
環境安全課 環境安全係 係長 高瀬 恵子
環境安全課 環境安全係 主任 矢崎 寛子
環境安全課 環境安全係 浅井 晶子 (2024.12.10 まで)
環境安全課 環境安全係 井上 裕 (2024.4.1 から)

学生編集委員

岐阜大学

自然科学技術研究科 修士課程2年 有馬 豊大
自然科学技術研究科 修士課程2年 榊原 優花
自然科学技術研究科 修士課程2年 杉浦 花歩
自然科学技術研究科 修士課程2年 南谷 悠太
自然科学技術研究科 修士課程2年 横山 慎治
工学部4年 加賀 貴美子 ※1
工学部4年 片山 義章 ※1
工学部4年 原田 瑞希 ※1
応用生物科学部4年 田中 ひなた ※1
社会システム経営学環4年 與川 美佑 ※2
教育学部3年 繁 ハナ子 ※2
教育学部3年 藤井 大輝 ※2
地域科学部3年 柴山 晴香 ※1
地域科学部3年 平田 万結 ※1
工学部3年 野村 知穂 ※3
工学部3年 水野 紗希 ※3
応用生物科学部3年 堀部 真生 ※1
応用生物科学部3年 山中 健生 ※1
地域科学部2年 加藤 大翔 ※4
地域科学部2年 北村 美希 ※4
応用生物科学部2年 石原 美優 ※1
応用生物科学部2年 上井 ゆり子 ※1
応用生物科学部2年 清田 暖乃 ※1
応用生物科学部2年 前田 佳穂 ※1

名古屋大学

生命農学研究科 博士後期課程3年 大江 史花
環境学研究科 博士後期課程3年 平 春来里
生命農学研究科 博士後期課程1年 猪子 順子
工学研究科 博士前期課程1年 高瀬 有登 ※5
医学部5年 鬼頭 秀和 ※5
法学部4年 尾関 康平 ※5
農学部4年 中村 拓海 ※6
理学部3年 小嶋 拓光 ※5
農学部3年 中島 茉里 ※5
農学部3年 石原 彩香 ※5
農学部3年 森上 葉奈 ※5
医学部3年 土方 愛梨 ※6
理学部2年 山根 壮 ※6
医学部2年 早稲田 清伶 ※6
農学部2年 榊原 康介 ※6
工学部2年 丸山 恭弘 ※6
文学部2年 杉原 虎徹 ※5
農学部2年 前田 えりい ※5
農学部2年 近藤 穂佳 ※5

※1 岐阜大学環境サークル G-amet所属
※2 岐阜大学生協学生委員会(GI)所属
※3 岐阜大学緑化研究会 three trees所属
※4 岐阜大学 里山暮らし応援隊所属
※5 名古屋大学環境サークル Song of Earth所属
※6 名大祭実行委員会 環境対策部所属



環境に配慮した植物油
インキを使用しています。